

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	施策主管課	下水道課	課長名	雪下 清規
政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています						
施策No	06	施策名	汚水の適切な処理	関係課名	生活環境課		
施策の目指す姿	下水利用環境が整っています						

現状と課題

**【現状】**

- 公共下水道の整備は令和2年度でおおむね完了し、汚水処理人口普及率は、平成30年度末で90.2%となっています。
- 汚水処理施設を利用できる状態にある市民のうち、実際に接続して利用している市民の割合を示す水洗化率は、平成30年度末で79.9%となっています。
- 公共下水道の大迫・東和浄化センターや農業集落排水の処理場の老朽化が進んでいます。

**【課題】**

- 公共下水道や農業集落排水の処理場の機械・電気設備の老朽化が進んでおり、計画的な改築更新による長寿命化対策が必要です。
- 経済的な理由により水洗化が進んでいない世帯もあり、支援制度の周知が必要です。
- 下水道整備区域外の浄化槽の整備が進んでおらず、補助制度の周知が必要です。

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

- 水洗化率の向上を図るため、各種支援制度を地道に周知していくとともに、汲み取り世帯等の声を吸い上げ、より効果的な支援制度を検討する。
- 適切な機能維持を図るため、各種施設の長寿命化計画に基づき、適切な時期に適切な工法で、更新工事を実施する。

反映状況

- 水洗化率の向上を図るため、広報はなまき(8/15号)には「トイレの水洗化で暮らしを快適に」と題して市内の水洗化率の現状と水洗化支援制度の概要を紹介したほか、コミュニティFM(えふえむ花巻)の放送を通じて9月10日の「下水道の日」をPRした。また、納税証明書の添付を省略するなど申請手続きの簡素化を図った。
- 適切な機能維持を図るため、(公共)大迫浄化センターや東和浄化センターの電気設備、(農集)熊野地区クリーンセンターの機械設備を更新した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 汚水処理施設の整備と機能維持

- 公共下水道について、大迫・東和浄化センターの機械、電気設備の改築更新の実施
  - 大迫浄化センターの機械設備更新、東和浄化センターの機械・電気設備更新
- 農業集落排水について、処理場の機械設備の改築更新の実施
  - 熊野地区の機械設備更新
- 浄化槽の維持管理
  - 市設置型1,355基の維持管理

(2) 水洗化の推進

- 公共下水道や農業集落排水の未接続者への支援制度の周知
  - 広報はなまきやコミュニティFMによる周知
- 水洗化に係る補助金の支援
  - 融資あっせんと利子補給、私設污水管設置費補助金、排水設備設置促進事業補助金
- 浄化槽の設置に係る補助制度のPR
  - 浄化槽設置整備事業補助金、浄化槽維持管理費補助金
- 申請手続きの簡素化
  - 納税証明書の添付に代えて、「同意」を得て税情報を確認するように見直しを実施

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
汚水処理人口普及率	汚水処理施設の整備状況として市民に最もわかりやすい指標であるため	普及率=整備区域内人口/市全人口	%	目標値	91.50	92.20	92.60	93.10	93.50	
				実績値	90.50	90.70	91.00	91.10		
水洗化率	市内全域で実際に汚水処理施設を利用している割合を表し、市民に水洗化の現状を示すため	水洗化率=汚水処理施設を利用している人口/市全人口	%	目標値	82.30	83.80	84.70	85.40	85.80	
				実績値	80.60	81.20	81.90	82.40		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「汚水処理人口普及率」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度より0.1%増加したものの、目標値(93.1%)を2.0%下回っている。公共下水道や農業集落排水による集合処理区域の整備は概成し、それ以外の区域は浄化槽による整備区域となるが、高齢者のみの世帯や経済的な理由により浄化槽の普及が進まない。ここ10年ほどの推移をみるとH28頃を境に伸び率が鈍化している。</li> </ul> <p>■成果指標「水洗化率」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度より0.5%増加したものの、目標値(85.4%)を3.0%下回っている。汚水処理人口普及率と同様に、高齢者のみの世帯や経済的な理由により水洗化の普及が進まない。</li> </ul>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(浄化槽事業) 集合処理区域以外の市域における汚水処理方法は、個人設置型の浄化槽整備となるので、各種支援制度を周知していくとともに、未水洗化世帯等の声を吸い上げ、必要に応じて既存の補助制度を見直し、水洗化率を向上させる必要がある。</li> <li>・(し尿処理事業) 下水道等の普及により、し尿処理量は減少することから、水洗化率を向上させる必要がある。</li> <li>・(公共下水道事業) 長寿命化対策は、更新時期や工法の見直しによりコスト縮減に取り組み、効率的に進める必要がある。</li> <li>・(農業集落排水事業) 機能強化対策は、更新時期や工法の見直しによりコスト縮減に取り組み、効率的に進める必要がある。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道や農業集落排水の未接続者はもとより、このような集合処理区域以外の方にも水洗トイレを普及させるため、個人設置型の浄化槽整備にかかる補助制度をはじめ各種支援制度を周知しながら水洗化を促進する。一方、未水洗化世帯等からの声を吸い上げ、必要に応じて既存の補助制度を見直し、水洗化率の向上に努める必要がある。</li> <li>・年々老朽化する施設については、コスト縮減の観点から効率的に長寿命化を図り、汚水処理施設の適切な機能維持に努める必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洗化率の向上を図るため、各種支援制度を周知するとともに、未水洗化世帯等の声を吸い上げ、より効果的な支援制度を検討する。</li> <li>・適切な機能維持を図るため、各種施設の長寿命化計画に基づき、適切な時期に適切な工法で、更新工事を実施する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
事業内容(活動実績)			直結度		
010	浄化槽事業費	下水道	間接・少数	直結	B
	浄化槽の整備促進 (私設污水管設置費補助 7件、排水設備設置促進事業補助 17件、浄化槽設置整備事業補助 62件、維持管理費補助 280件)				
			B		
020	し尿処理事業費	生活環境	間接・少数	直結	-
	し尿汲取り業務 (汲取り量 16,601kl)				
			B		
060	公共下水道事業費	下水道課	間接・少数	直結	B
	公共下水道の長寿命化対策等 (長寿命化対策工事等 5件、公共汚水樹設置 30件)				
			B		
070	農業集落排水事業費	下水道課	間接・少数	直結	B
	農業集落排水の長寿命化対策等 (調査設計実施地区 3地区、機能強化工事 1地区、公共汚水樹設置 7件)				
			B		